

南方地区避難タワー 完成!



↑非常災害用飲料水



↑簡易トイレや担架ベットも備えています



震度5以上を感知すると自動で開く仕組みです



緊急時にはここから入れます

南方地区避難タワーの落成式が4月26日(金)に行われました。
南方地区は、南海トラフ地震が発生した場合、28分後に1m、46分後には、最大8.39mの津波が到達すると想定されています。
南方地区避難タワーは、南海トラフ地震等による津波から人的被害を防ぎ、地区住民の安全を確保するため一時避難施設として建設されました。
本施設は、高さ14.35m、最大で約660名収容可能であり、第1層目及び第2層目にはそれぞれ備蓄倉庫、固定式ベンチ、また、屋上には、太陽電池パネル式の蓄電池付ソーラー照明灯が設置されています。
町としては、今後は、タワーを使った避難訓練なども行うことにしています。

